

●6年制学科のカリキュラムの特色

「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠し、教育理念実現のために、1年次では、基礎学力に応じたプログラムを準備し、豊かな人間性の醸成、コミュニケーション能力の向上、薬学人として自覚の獲得、基礎的実習体験。2年次・3年次では、1年次後期から開始される薬学専門教育を順次専門性の高い教育へと体系的かつ総合的に修得できる教育プログラムと、薬学実習を通して必要な技能・態度の修得できる教育プログラム、演習プログラムの実施。4年次では、実務実習への準備学習と卒業研究への取り組み開始。5年次では、医療現場での実務体験と将来の進路を見据えたアドバンスト実習の実施。6年次では、卒業研究のまとめと成果発表、薬剤師としての資質を養う総まとめのカリキュラムである。「薬学概論」「医療倫理学」「アドバンスト教育」などでは、学外の医療関係者による講義を多くし、また、他大学の医学部や看護学部と連携により、初年次から将来の医療チームの一員としての必要な能力の育成に努めている。

さらに、研究志向の学生のために1年次後期から研究講座で研究ができる「特別実習」や、地域で貢献していく薬剤師養成の「地域医療学」、ボランティア活動を組み込んだ「実践社会福祉」の科目を通して、学生のニーズに対応したカリキュラムにしている。知性をあわせ持つ薬の専門家を育成したと考えています。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

中国・四国地区および沖縄・鹿児島での「ふるさと実習」を実施。帰省先での実習が可能であれば、「ふるさと実習」を薦めている。実習期間中、県外の実習であっても教員が実習施設を複数回訪問し、実習の進捗・評価の確認と学生のメンタルサポートを行う。また、Webポートフォリオを導入により個々の学生の実習状況を把握し、指導にあたる薬剤師、大学教員と情報を共有することで、学生の実務実習をサポートします。

●病院実習先・薬局実習先

香川県下では、香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院、香川県立中央病院、香川県立白鳥病院、香川労災病院、栗林病院、高松市民病院、さぬき市民病院、坂出市立病院、高松病院、回生病院、屋島総合病院、四国こどもとおとな医療センター、滝宮総合病院、三豊総合病院などがある。40カ所

香川県下では、地元の社団法人香川県薬剤師会・会営薬局、村田薬局、辻上薬局、アライブ薬局の他、アインなど大手の薬局でも実施。

ふるさと実習については、調整機構を通じて実家近くの施設で実習を行っている。

。60カ所

●アドバンスト(臨床)実習

5年次の実務実習終了後、アドバンスト教育プログラム(選択必須)として、4つのコースから選択する。臨床薬学コースでは、薬物治療に積極的に貢献する薬剤師を目指し、病院での臨床実習、カンファレンスの参加を行う。地域医療コースでは、保険薬局や高齢化社会でのニーズが高まる地域医療の連携を担う薬剤師を目指し、医療情報の電子化、共有の在り方も含めて学ぶ。東洋医療コースでは、漢方医療や代替医療など、疾病の予防に重点を置く伝統医療などを学び、漢方専門薬局での研修を行う。先進薬学コースでは、大学院への進学、研究者、技術者を目指すコースで、学術大会で研究成果の発表を行う。

●多職種連携教育の具体的な内容

徳島文理大学(保険福祉学部・臨床工学科、診療放射線学科)、香川大学医学部、香川県立保健医療大学と連携した教育プログラムを行っている。例えば、1年次の薬学教育の導入科目では、3大学同時配信の遠隔授業で現役の医療者による倫理、使命、チーム医療の重要性についての講義を行っている。4年次では、チーム医療学として、それぞれの学生と一緒にSGDを行い、互いの職種について理解を深めている。

●多職種連携教育を行う医療施設名

実務実習の中でも他職種連携を学べる機会があるが、アドバンスト教育プログラムの臨床薬学コース、地域医療コースにおいて以下の施設で行っている。香川大学医学部附属病院、国家公務員共済組合連合会 高松病院、さぬき市民病院、および香川県下の福祉施設で行っている。

●薬剤師国家試験への取り組み

5年次後期に模擬試験を実施し、薬剤師国家試験を意識した学習を喚起させている。6年次4月から1~4年次に学習した内容を再確認し、基礎力を充実させるための基礎薬学講座を開講している。勉強の進捗度を測定する試験も実施している。夏以降、薬剤師国家試験の中心となっている医療薬学系の科目を中心に、実践に則した講義と演習を行っている。また、科目担当教員と配属講座の教員によるポイントを押さえたきめ細かな指導を実施している。薬剤師国家試験では1年次からの学習到達度が合格にとって重要なので、国家試験への取り組みは、各学年での科目担当教員によるきめ細かな指導の延長線上で行われる。

●卒業研究について

「卒業実習1(必須10単位)」は、5年~6年前期にかけて4年次に配属された講座にて実施。薬学基礎から臨床系の研究まで幅広く行っており、研究成果は論文形式にまとめて6年次の7月下旬に提出する。また研究成果は、口頭の発表会を行い、教員、下級生からの質疑に答えるようになっている。卒業研究を通じて、問題発見、解決能力とともに他者に研究成果を伝えるプレゼンテーション能力の醸成を目指している。

●入試の変更点

2023年度入試から、以下の2点を変更しました。

1: 一般入試1期A日程の理科の選択科目に、「生物・生物基礎」を追加しました。

2: 各科目の筆記試験の試験時間を60分から50分に短縮しました。

●入試に合格するためのアドバイス

一般入試1期A日程の理科の選択科目に、「生物・生物基礎」を追加しました。生物が得意な薬学志望の受験生にはチャンスです。

●過去問を公開しておられますか

回答なし

●面接や小論文について教えてください

面接
総合型選抜入試の面接では、以下の内容を確認します。

- ・提出された作文や体験した模擬授業について、志望動機
- ・口頭試問(関数とグラフ、指数対数、化学:分子の構造と性質、mol計算)

小論文

総合型選抜入試の「作文型」では、以下の内容を含む作文を課します。

- ・香川薬学部を志望する理由
- ・香川薬学部で学びたい内容
- ・現在と将来の自分について

●大学独自の奨学金制度

薬学部・香川薬学部 特待生制度
<https://jyuken.bunri-u.ac.jp/scholarship/scholarship/scholarship1.html>

薬学部・香川薬学部 地域限定特待生制度

<https://jyuken.bunri-u.ac.jp/scholarship/scholarship/scholarship2.html>

徳島文理大学奨学金制度
<https://jyuken.bunri-u.ac.jp/scholarship/student-loan/>

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

回答なし

●オープンキャンパスの日程

香川キャンパス オープンキャンパス
2023

6月11日・7月17日・8月5日・8月20
日・10月1日

[https://jyuken.bunri-
u.ac.jp/events/kagawa-oc/](https://jyuken.bunri-u.ac.jp/events/kagawa-oc/)